

News Letter

2023年

5月

中国四国農政局
高知県拠点

エフビットファームこうち株式会社

本山町

1. 次世代型ハウスによるパプリカの生産

高知県本山町にあるエフビットファームこうち株式会社は、令和2年3月に設立され、同町で、バイオマス発電所と次世代型園芸施設を組み合わせた地域密着型の農業クラスター事業を展開しています。

約1haの次世代型園芸施設ではパプリカを生産し、県下最大の年間生産量240tを目指しています。現在生産されているパプリカは、昨年8月に苗木を定植したもので、今年8月初旬まで収穫した後、消毒のため作替えをして次期作に切り替わります。

施設内は、コンピューター制御による温室内環境の調整や、栽培液を回収し、殺菌再利用する循環型システム、細霧冷房装置、ヒートレール式温水暖房が設備されている他、併設する木質バイオマス発電施設で発生した熱、CO₂、電気を施設内に活用するトリジェネレーションを県内で初めて実現しました。



次世代型ハウス全景（写真上）
（写真提供：エフビットファームこうち株式会社）
ハウス内のパプリカ栽培（写真左下・右中央）
販売用に個包装されたパプリカ（写真右下）

2. 木質バイオマス発電施設

「エフビットコミュニケーションズ株式会社」が運営する木質バイオマス発電施設は、主に地元産の未利用木質材を熱源とし蒸気でタービンを回して約2,000kWの出力で発電を行い、四国電力に売電もしています。

バイオマス発電所と次世代型園芸施設を組み合わせることでバイオマス発電所の特徴であるカーボンニュートラルに加え、より環境に配慮したカーボンマイナスを実現しています。

発電には、年間3万tの木質チップを使用します。投入量の約3%が灰として残りますが、現在は産廃として処理している灰の有効活用として、林道の路盤材や、防草材への利用等の取組が進められています。

また、バイオマス発電所と次世代型園芸施設双方で地域に数多くの雇用を生み出しています。



木質バイオマス発電施設
（写真提供：エフビットファームこうち株式会社）



高知県土佐町には、つなぐ棚田遺産に認定された「高須棚田」があり、古くから守り伝えてきた棚田景観は、地域の積極的な維持活動に支えられています。標高600mの棚田で生産されるお米は、県内でも評判の「相川米」の産地としても知られています。

5月中旬、田植えの準備が進む棚田には水が張られ、新緑の野山に溶け込み美しい景観が広がっています。



高須棚田の水張風景



棚田ビュースポット（土佐柴刈りの里）

環境にやさしい農業に取り組んでみどり認定を受けましょう

みどりの食料システム法は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を目指す「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた法制度で令和4年に制定・施行されました。

農林漁業者は、環境負荷の低減に取り組む5年間の事業計画を作成し、都道府県知事の認定を受けることができます。

みどり認定を受けるメリット

メリット① 設備投資の際の所得税・法人税が優遇されます！

青色申告を行う農業者の方は、認定を受けた計画に従って化学肥料・化学農薬の使用低減に必要となる設備を導入した場合、通常の減価償却額に次の金額を上乗せして償却できます。

(機械など：取得価額×32%、建物など：取得価額×16%)

税制対象機械一覧はこちらをご覧ください。(農林水産省へリンク)

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/midorihou_kibann.html

メリット② さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます！

計画認定を受けると、国庫補助事業の採択審査のポイントが加算されます。

対象事業はこちらをご覧ください。(農林水産省へリンク)

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/index-134.pdf>

その他、日本政策金融公庫の農業改良資金等の貸付けを受けられます。

特別償却のイメージ

700万円の機械(耐用年数7年)を導入した場合

